

もの言う牧師のエッセー 第248話

「上海ディズニー」

6月半ば、55億ドル（約5,700億円）の建設費が注がれた上海ディズニーランドがオープンした。セレモニーにはウォルト・ディズニーのロバート・アイガーCEOとワン・ヤン（汪洋）中国副首相が駆けつけたほか、オバマ米大統領と習近平中国国家主席のメッセージも披露され、政財界を巻き込んだビッグプロジェクトへの期待がうかがえた。だがもっと驚いたのは、ディズニーが上海ディズニーランドから鉄道や車で3時間圏内に住む人口を3億3,000万人と試算し想定顧客としたことだ。アメリカの総人口よりも多いその巨大な想定顧客数を見て、聖書の最終章に記されている預言、

「その声がラッパを持っている第六の御使いに言った。『大川ユーフラテスのほとりにつながれている四人の御使いを解き放せ。』すると、定められた時、日、月、年のために用意されていた四人の御使いが、人類の三分の一を殺すために解き放された。騎兵の軍勢の数は二億であった。私はその数を聞いた。」

ヨハネの黙示録9章14-16節、

を思い出した。これはキリストの再臨前に起こる世界最終戦争の終盤での一コマであるが、“ユーフラテス川の東にある巨大な国”は中国を指すと以前から聖書学者らの間でささやかれてきた。問題はこの“二億”という数字である。あまりにも大き過ぎると言うのだが果たしてそうだろうか。

今から2千年以上も前に書かれた「韓非子」によれば、「昔は人口が少なく資源が豊富だったが、現代は人口が増え物不足だ」などとぼやいているが、世界人口が約1億～2億程度の時代に当時の中国社会はすでに約3000万の人々が暮らす人口過多に陥っていた。中国の歴代王朝末期に起こる大乱と国家の衰亡は、飢饉や貧困による資源や食料の争奪が原因であり、さらにそれに天災が追い打ちをかけ行き場を失った民が“流民”として噴出し、四散し、合流した流民パワーが巨大潮流となって大陸を席卷、ついには中国史を動かしその版図を広げて来た。

現在中国では年間約15万件以上の暴動が発生していることは知られているが、何も今に始まったことではなく、むしろ良くある中国史の1コマであり、やがて彼らが巨大流民パワーとして爆発する時こそが、この黙示録預言の描写が現実のものとなる時である。そしてその後キリストは地上に帰ってくる。全てを裁くために。その日は近い。

2016-8-17

